



社労士SaaS ランサムウェア被害の実情


社会保険労務士 岩野麻子事務所
増永 隼人

目次

- 自己紹介
- 社労士と業務システムについて
- ランサムウェア被害とその影響
- これからの課題

自己紹介



会社名	社会保険労務士 岩野麻子事務所	所属	システム部 ・ システム業務支援プロジェクトチーム	
会社説明	築地にある社労士事務所。 経営理念「働くすべての人々に、QOLの向上を」	お立場	社労士事務所のシステム担当者	情シス歴5年
お名前	増永 隼人 	ひとこと	神楽坂まちおこしイベント「神楽坂まち飛びフェスタ」実行委員 神楽坂フォトコン審査委員長 飼い猫の名前はニャン多(にゃんたた)。 眼鏡・ファスナー・写真好き。	
主な依頼	PC・インフラ整備、問い合わせ窓口、ウェブページ制作・更新、ローコード開発、DX推進、バックオフィス業務、顧客のDX推進サポート 等			
スタイル	コスパを大事に。 バックアップガンガンいこうぜ			
結果	事務所のシステム化に貢献 コロナ直後(2019年2月中盤)にテレワーク環境を構築・開始 業務改善ツールの内製化			
課題	全く別の業界出身のため、社労士の知識がない			

社会保険労務士 岩野麻子事務所について



開業：2007年5月1日（今年で17年目）

従業員数：10名（うち有資格者5名）

週休3日、フレックス、テレワーク完備、女性8割の事務所です。

元大手電機メーカー、
大手自動車メーカー、
ベンチャー系などの各人事部から
大手劇団の元俳優まで、
幅広い経歴の出身者が
様々な顧問先を支援しています。
今回のSaaSは導入していませんでした



目次

- 自己紹介
- **社労士と業務システムについて**
- ランサムウェア被害とその影響
- これからの課題

社会保険労務士とは

主な業務

- 労働法規や社会保険制度に関するアドバイスやコンサルティング
- 給与計算や社会保険手続きの代行
- 労働契約書の作成や改定のサポート
- 労使トラブルの解決サポート
- 労働基準監督署や社会保険事務所との連絡・交渉のサポート



社会保険労務士とは

大きく分けると

コンサル
ティング

手続き

給与計算

この3つ

社会保険労務士とは

繁忙期

- 6月～7月、12月～1月、3月～4月

企業に勤務し、自社の業務を行う「勤務社労士」と
開業して顧問先の手続き代行をする「開業社労士」が
あります。

※私からは主に勤務社労士側からの話をします



社労士が取り扱う個人情報

職務上、クリティカルな個人情報が多い

- 名前・生年月日・性別
- 住所・電話番号・銀行口座
- 給与・賞与
- その他被保険者情報
- 基礎年金番号
- 扶養家族
- マイナンバーetc...



社労士向けの業務システム・SaaS



専門分野のシステムで、選択肢は多くありません。

小規模な事務所が多くシステム導入が進んだのはここ数年です。

代表的なシステム

- ・ 大企業向けのオンプレ「ARDIO」



- ・ 中小から大企業まで対応できるクラウド「社労夢」



- ・ エクセルマクロで構築した「セルズ」



最近クラウドの「オフィスステーションPro」がシェアを伸ばしています。

今回の社労士用SaaSについて

シェアNo 1の社労士向けシステム

いち早くクラウドシステムで提供していたため、
個人事務所から大企業まで対応可能で、導入が容易だった

- 利用社労士事務所 … 2,754
 - 管理事業所数 … 569,914
 - 管理在職者数 … 8,262,031人
- ※日本の労働者の約12%

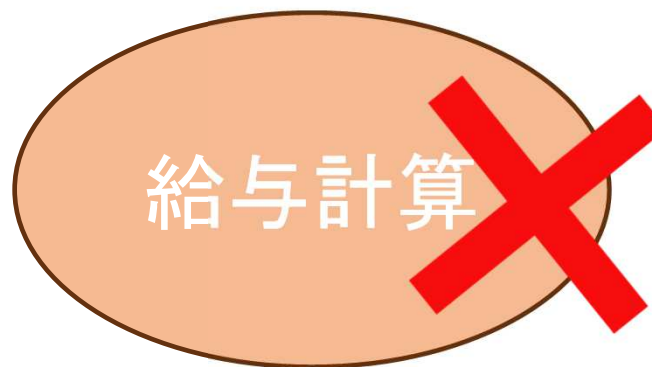
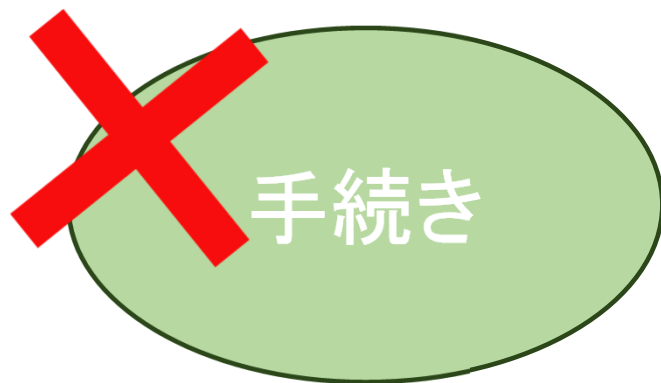
労働保険事務組合、健康保険組合など向けのシステムも展開している

目次

- 自己紹介
- 社労士と業務システムについて
- **ランサムウェア被害とその影響**
- これからの課題

影響を受けた業務

コンサル
ティング



被害の時期 6月～7月



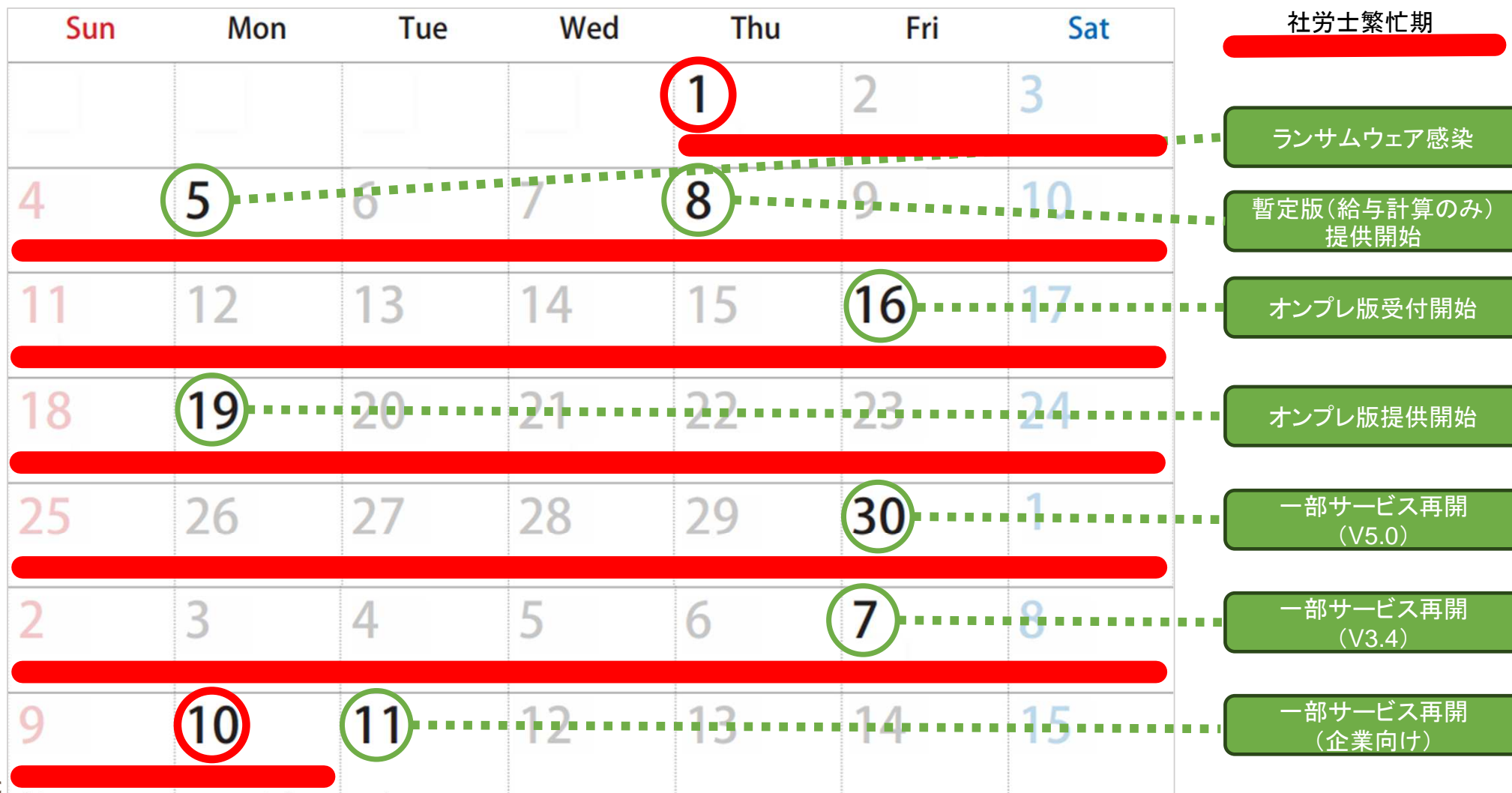
社労士の一番の繁忙期 (年度更新・算定基礎届)

給与計算業務

賞与の支払い時期



感染からサービス再開までの時系列



システム会社の対応

- 開発中のAWS版の早期リリース
- オンプレ版の提供
- 6月分使用料を不請求
- 関係各所との調整
- 個人情報漏洩報告義務を社労士事務所が追わなくて済むよう働きかけ※

※情報確定前に発表してしまい、後に不可能と判明したため、混乱を深めてしまった

なお、最終報告では、マイナンバーを含め個人情報流出の事実は確認されていない

個人情報保護法の報告義務

- 報告の条件
 - 漏えい等の事案が発生した場合、又は発生した**おそれがある場合**
- 報告先・時期
 - 個人情報保護委員会
 - **従業員本人**

報告の期限

まずは **速報** (新規)
発覚日から、**3~5日以内**

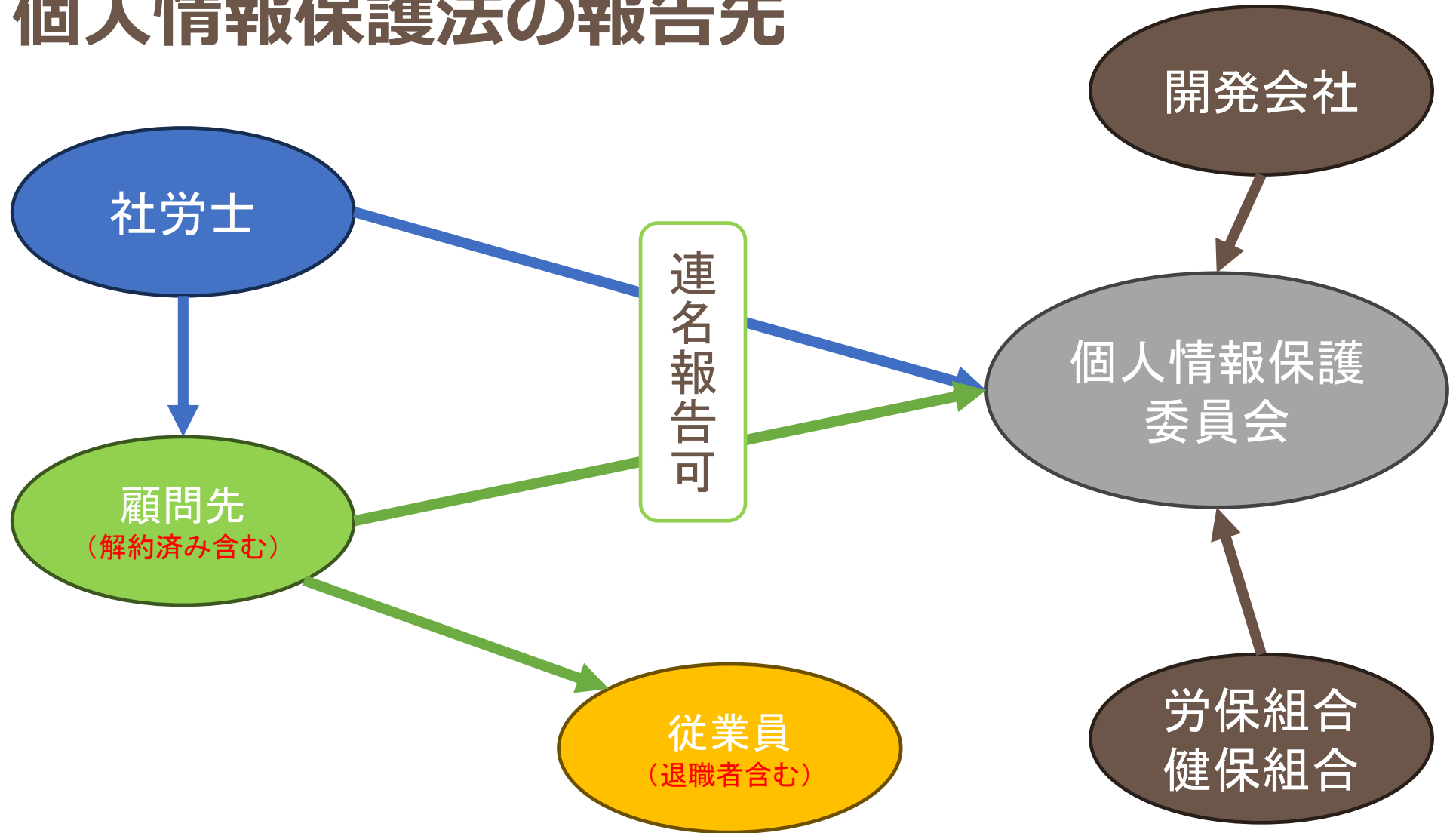
発覚したら、まずは速やかに報告してください。



次に **確報** (続報)
発覚日から、**30日以内**

不正な目的で行われたおそれがある場合は、発覚日から、60日以内

個人情報保護法の報告先



業務への影響：ある社労士事務所の場合

- 顧問先への説明
- 給与の仮払い依頼・無償対応
- 賞与計算
- 全銀協データの作成
- 給与明細を紙で発行（Web給与明細が使用できないため）
- 夜間対応（暫定システムの不安定さのため）
- 手続きは紙かeGov（情報連携不可。必要な個人情報も取り出せず）
- 別の給与計算システム購入
- オンプレ版のセットアップ、PC調達
- 個人情報保護法の報告対応



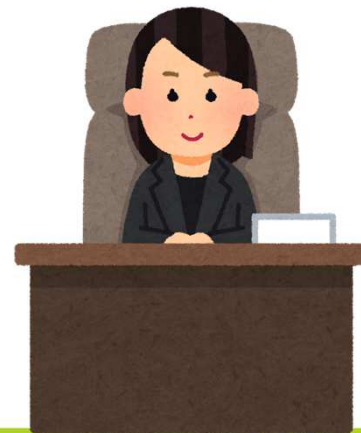
ある社労士法人の代表に伺いました

Q:どのくらいの大変さでしたか？

- もうやめようかと思うくらい

Q:何が大変でしたか？

- 給与計算ができないこと。
期限があるので前月給与をもとに仮ですすめた。
マスターデータがそもそもダウンロードできないことも状況を悪くした
- システム会社から情報が出てこないため不明点が多く、
終わりが見えない状態が約1か月続いた
- これまでのワークフローが崩壊した
 - システムに任せていた業務をエクセルで手計算するフローを構築
 - 電子申請ができないので紙で対応
- **多大な残業時間で離職者が発生、残った従業員はさらに疲弊した**
- **顧客から恨み言**



ある社労士法人の代表に伺いました

Q：予想外の出来事がありましたか？

- 顧問契約終了済みの顧客へも対応が必要だった
- 個人情報保護委員会への報告
 - 報告自体が初めて。やり方から調べる必要があった。
 - システム会社がまとめて報告し、個別の報告の必要なしと声明を発表したが、法律上認められていないため後日それを撤回。かえって混乱を深めた。
 - 顧問先の会社と連名で提出したが、その**説明と連名を希望するかの要望を短期間でまとめる**必要があった。
- 余計な混乱をきたさない情報発信をどうするべきか悩んだ
 - 漏れたかどうかは不明。その状態で顧問先へ報告をしてしまうと不安をあおるだけになってしまう。
 - また、その電話対応でさらに業務がひっ迫するのを避ける必要があった。
- サイバーリスク保険の条件が難解。
 - この件に対応するために増えた**残業時間のうち、対象の時間の証明が難しい**。

ある社労士法人の代表に伺いました

Q：その後どうすることにしましたか？

- 別のSaaSシステムに切り替えを進めている
ただし、**同様のことが起きないとは言えない**

新システムの選定基準…

- ・新しいSaaSの営業が来たため
- ・他のシステムの選択肢が少ない

岩野事務所の対応・対策

- 顧客へアナウンス
- 事務組合に問い合わせ
- 個人情報保護法の報告の必要性の確認
- SaaSからのデータダウンロード
- 別システムでの業務遂行の段取り、テスト
- 自社システムのバックアップ体制、セキュリティ対策の所内説明
- 顧問先ごとの使用システム組み合わせの洗い出し
- サイバーリスク保険の支払い条件の再確認
- 他事務所への陣中見舞い送付

サイバーリスク保険

対象

- 顧問先への補償
 - 遅延損害金、手数料等の追加コスト
- 公的機関への届出、顧客へのお詫び状作成費用
- コールセンター委託費用
- 従業員の超過勤務手当



非対象

- システム停止により滞った業務の**代替のために支出した費用**
 - 給与計算を手作業で対応した場合にかかった超過勤務手当
(※今回の対応に費やす大半の作業は非対称)
 - 代替システムの導入費用等
- 一般従業員の時間内給与や**超過勤務手当の発生しない管理職等の給与**
(※規模が小さい事務所が多く、代表一人の事務所も多い。代表はもちろん対象外)

トラブルの予兆

- 2023年4月約1週間のシステム障害

- 3日（月）接続障害・動作遅延が発生
- 4日（火）他サービスにも接続障害が発生
- 5日（水）システム負荷軽減のため給与計算部分を再開
- 8日（土）より正常稼働

※この時にオンプレ版の開発を開始、7月リリース予定になっていたため、オンプレ版の提供が迅速だった

- ヤフーフाइナンスの書き込み

→株系からの視点で情報

- 転職サイトの書き込み

→従業員視点の投稿



目次

- 自己紹介
- 社労士と業務システムについて
- ランサムウェア被害とその影響
- **これからの課題**

これからの課題

- 業務システムは使用できなくなる可能性がある
 - **使用できない時にどう業務を遂行するか**
- 導入するシステムの選定方法を考える必要がある
 - **何をもって信頼できるSaaSと評価するか**





ご清聴ありがとうございました！

